

# HIDEYO SALON

お待ちしております。サロン・コンサート N.29 のご案内です。

今回は、“[Wien](#)”『[ウィーン：ワルツの街](#)』と題して、「音楽の都」ウィーンを象徴する音楽作品を、たっぷりお届けします。

ウィーンは、かつて多民族国家オーストリア＝ハンガリー帝国の首都であり、ドイツ語、ハンガリー語、チェコ語、ポーランド語、ルーマニア語、イタリア語など、ヨーロッパのあらゆる言語を耳にすることができる国際都市でした。各地から集まった才能は音楽の世界でも華々しく開花し、モーツァルト、ベートーヴェンをはじめとした天才作曲家や、優れた演奏家を生み出しました。毎年1月1日、ウィーン楽友協会の大ホール（黄金のホール）にて開催される『ニューイヤーコンサート』をご存知でしょうか？世界最高峰のオーケストラ“ウィーンフィルハーモニー管弦楽団”が、ウィンナーワルツやポルカなど、心躍る楽しい曲を次から次へと演奏し、新年を祝うマチネ・コンサートです。

今年も、チェロ奏者：[クリスチャン シュルツ\(Christian Schulz\)](#)さんが来日されゲストとしてお迎えできることになりました。彼がウィーンで20代続く音楽家の家系出身であるということを知り、それでは思いっきりウィーンらしく、『ミニ・ニューイヤーコンサート』を企画しましょう!!ということになりました。更に、ウィーン国立音楽大学を卒業されたヴァイオリン奏者[マウロ イウラート\(Mauro Iurato\)](#)さん。彼がコンサートマスターを務める“アンサンブル神戸”の主宰者であり指揮者、フルート奏者である[矢野正浩](#)さん(N.22、25 ゲスト出演)が再登場。心強いピアニストには、もちろん[正田歩](#)さんをお迎えいたします。幸運な偶然が重なり、ステキな演奏家が集まりました。思わず微笑がこぼれるような、楽しげで魅力的な作品に耳を傾けていただき、本場ヨーロッパの音楽を身近に感じていただければ、本当に嬉しく思います。このチャンスを、どうぞお見逃しなく！

今回のフェスタ・イタリアーナの主役は、とっておきの限定“[ブリゲータ 2007](#)”、有機栽培ぶどうバルベラ 100%、保存料無添加、ピエモンテが誇る赤ワイン、世界中探してもあと僅か数十本となったこの逸品ワインで、乾杯しましょう！

---

2011年04月04日 南雲英代

\* L.S.N.会員の皆様がお誘い下さいました方々も、割引チケットをお求めいただけます。

\* チケットは、先着180名様です。なるべくお早めにお求め下さいね。